

防災・減災の意識向上のためには?

1217A班

I 序論

現状

現在学校で行っている防災・減災は避難訓練を年2回そして防災手帳を紙で配布しているが、高校生の防災・減災に対する意識が低い

高校生の意識向上を図るために防災手帳の活用に着目



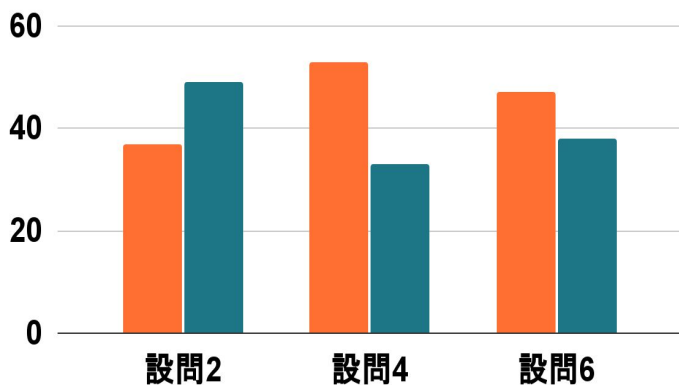
仮説

スマートフォンなどで携帯できる防災手帳があれば意識向上する。

II 方法

アンケート結果

はい いいえ



設問2

気仙沼防災手帳をカバンやファイルなどすぐに取り出せる場所にしまっているか

設問4

防災手帳を持っている場合、災害時や緊急時に活用すると思いますか

設問6

インターネットが使える場合、災害時や緊急時にweb版の防災手帳があったら利用しますか

III 結論

アンケートの結果より

○気仙沼高校の防災手帳のデジタル化はあったら利用したいと思う人がいた。

○気高生は防災マップを携帯している人の割合は、低い。

➡紛失したり、保管しておくことが難しい(掃除をする際に捨ててしまうなど)から。

○防災手帳を携帯している割合は少なかったが携帯している人や緊急時に活用したいと思っている人もいることが分かった。



このことからweb版と紙版の両方で気高生の防災・減災意識を高めることができると思う。

IV 展望

○これらを踏まえ、これからスマートフォンなどでいつでも見ることができるようweb版の防災手帳を配信しようと考えている。

～参考文献～

「気仙沼市災害危機管理課」資料

～ご協力～

気仙沼市役所 東北大学
災害危機管理課 災害科学国際研究所
准教授 S.S先生